

**製品名: HoxB4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12173**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HOXB4
別名	HOXB4; HOX2F; Homeobox protein Hox-B4; Homeobox protein Hox-2.6; Homeobox protein Hox-2F
遺伝子 ID	3214.0
SwissProt ID	P17483
免疫原	抗血清はヒト HoxB4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 86-135

**背景**

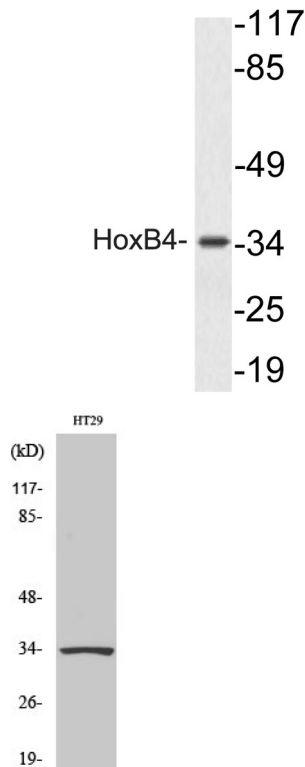
この遺伝子は Antp ホメオボックスファミリーのメンバーであり、ホメオボックス DNA 結合ドメインを持つ核タンパク質をコードし

ています。これは、17番染色体に位置するホメオボックスB遺伝子のクラスターに含まれています。コードされているタンパク質は、発生に関与する配列特異的転写因子として機能します。このタンパク質を細胞内または異所性に発現させると、in vivo および in vitro で造血幹細胞および前駆細胞が増殖するため、治療目的の幹細胞増殖の候補となる可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月]、発生段階：受胎後5~9週で胚および胎児全体に発現します。機能：細胞に前後軸上の特定の位置的アイデンティティを与える発生制御システムの一部である配列特異的転写因子。類似性：Antp ホメオボックスファミリーに属します。変形サブファミリー。類似性：1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含む。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



HoxB4 抗体を使用した HT29 細胞の溶解液のウエスタン プロット分析。

1: 1000 に希釈した HoxB4 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタン プロット分析。